



コトヒラ工業株式会社

本社・工場 389-0512 長野県東御市滋野乙1320
TEL.0268-63-0001(代) FAX.0268-63-0111
佐久工場 384-2102 長野県佐久市塩名田65
TEL.0267-58-1111(代)

<https://www.kotohira.biz>



つながる夢、つながる未来。



環境に配慮して植物油インキを使用しています。

2020.3 第2版

人と
社会と
自然と

RING for LINK

コトヒラの願いはつながること

「生涯を託するに足る職場の建設」

社員ひとり一人が生き生きとはたらくことのできる会社でありたい――。

職場環境や待遇だけでなく、キャリアアップにも投資して全社員の人生がより豊かなものになるようサポートします。

はたらいっている間はもちろんのこと、いつか自身の生涯を振り返ったときにも

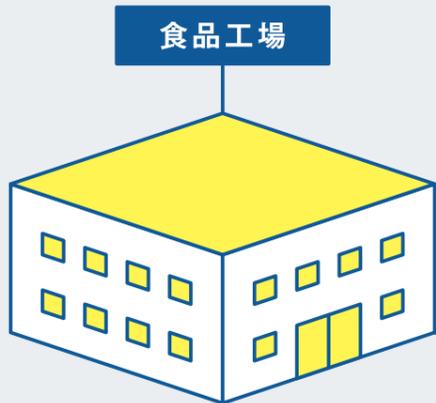
「この会社に勤めて本当によかった」と思えるような理想の職場づくりに、あなたも参加してみませんか。

自然環境に恵まれた信州・浅間高原の山裾を拠点に、

住宅・情報・システム・環境の多岐にわたるフィールドでテクノロジーの可能性を追求しています。

01 自社開発製品

お客様の理想を叶えるため、問題を解決するため、少しでも手間を省くため、寄せられた「声」をもとにアイデアを出し合い、新製品の開発を続けています。



食品工場

服に付いたホコリや髪の毛を落とすエアシャワーやダストクリーナー。異物混入のない、安心安全な食品づくりに貢献しています。



ポータブルエアシャワー



衣類用ダストクリーナー

靴底や長靴をきれいにする洗浄機。靴を洗う手間を少なく、きれいな靴で、清潔な工場の維持に貢献しています。



靴底洗浄機

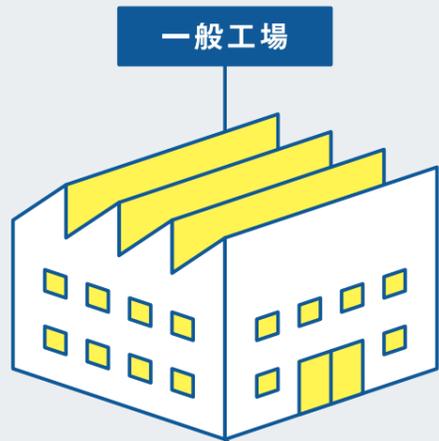


長靴洗浄機

洗ったら保管、乾燥



長靴ドライヤー 東京都 豊洲市場など水を使う職場で働く皆さんの長靴を乾かし、快適に仕事をしてもらえるように開発しました。



一般工場

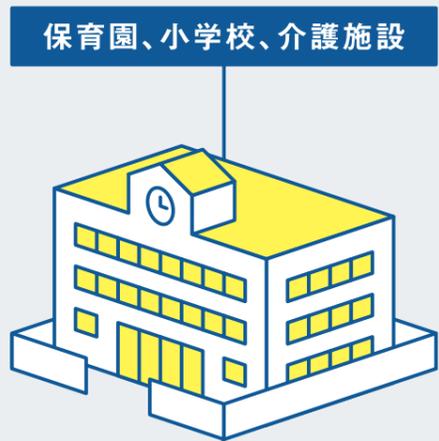
工場での作業で発生する煙などを回収し、働く人の健康を守ります。



吸煙装置



溶接ヒュームコレクター



保育園、小学校、介護施設

哺乳瓶や調理器具などを熱殺菌して保管。除菌水を手軽に生成して感染症を予防。清潔な環境で安心を支えています。



熱風消毒保管庫



電解次亜水生成機



山(スキー、登山)

スキー、スノーボードを快適に楽しんでもらうためのアイデア製品。トイレのない山頂などには、「自己完結式」のバイオトイレを設置。

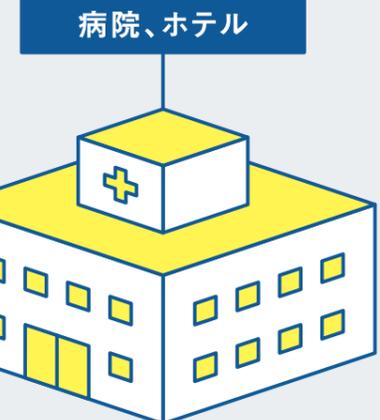


レンタル用スキー収納ユニット



バイオトイレ

イヤなニオイを分解し、同時に空間も除菌。さらに、除菌されたスリッパなら、気持ちよく履くことができます。



病院、ホテル



オゾン脱臭機



光触媒式脱臭機



02 産業機械大型製作

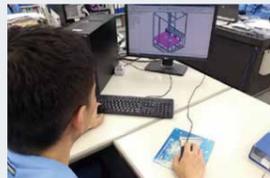
最新の設備を備え、独自開発のシステムにより管理された工場からは、高品質・高精度な製品が短期間で生み出されます。充実した設備と社員の高い技術力で、大型製缶・大型機械加工だけでなく、板金加工や組立・配線まで含めた幅広いニーズに対応しています。これからも「加工できないものはない」を目指し、技術力を高めていきます。



最大8mものサイズの製品を加工できる「門型5面加工機」



受賞歴を持つ技能者が多数在籍

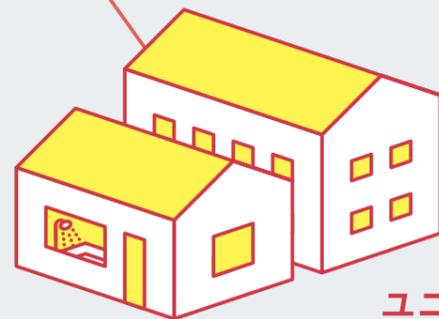


設計から製造まで、全ての工程をカバー

Creative, KOTOHIRA.

こんな身近な場所にコトヒラの製品があります。

コトヒラ工業は、卓越した技術力と最新鋭の設備をベースに、設計・開発から製造・生産まで一貫した製品開発体制でお客様の夢をカタチにする会社です。



ユニットバス

03

パナソニックブランドで販売されているバスルームには100%当社のパネルが使われている。生産量は1日あたり約9000枚(浴室約1000室分)で全国トップ。生産ラインと、それを動かすシステムは自社開発。生産はほぼ自動。様々な工夫と特許技術の詰まった工場は必見。

SENIOR'S VOICE

コヒラで働く先輩たちをご紹介します。一人ひとりが仕事に対する想いを語り、学生みなさんにメッセージを送ります。



「よりよい品質」を求め、
地元・長野県で
胸を張って働く喜び

熊井 岳史

2009年入社
商品部開発課



互いの信頼と連携が支える
職場環境が築く
「コヒラブランド」

落合 航

2011年入社
商品部開発課



社内外の人々と
接する日々で成長、いつかは
「助け合い」の一員に

半田 麻由

2015年入社
商品部商品営業課



開発から営業へ。
経験と日々のお会いから
学び成長する「今日の自分」

高木 孝亮

2013年入社
産機部産機営業課

自分のやっている仕事

部署同士・社員同士のつながりが よりよい品質を生む

食品工場などで使用される、クリーン関連機器の設計を担当しています。「社内で自社製品の開発設計から製造までをワンストップで行う」「地元密着の企業である」という点に惹かれ入社しました。何より地元長野県で働けることが大きな魅力です。

実際に入社して、営業・開発設計・加工など、社内の部署同士がとても機能的につながっている会社だなと感じました。部署間の横のつながりや、社員同士の意思の疎通があってこそコヒラクオリティなんだなと。自社製品を、最初から最後まですべて手がけることが出来るのも、豊富な設備はもちろんのこと、この「つながり」があるからだと思っています。

私の目標

新しい知識が「気付き」を 自信にしてくれる

毎日何から「気付き」に出会えるのがこの仕事の魅力です。その「気付き」をより自分に落とし込むためには、常に新しい分野の知識が必要になってきます。知識が力となって、仕事の質があがる。その質が、自信になりますよね。「自分が設計した製品に自信を持ってリリースすること」を日頃の目標としていますので、自分自身胸を張って「よく出来た」と言いたいと思っています。



自分のやっている仕事

「正確さ」も「自由な発想」も。 コミュニケーションから生まれる製品たち

入社して2年間は、技術課で受託製品の設計を担当していました。現在は、自社製品である産業用機器の、設計・開発を担当しています。受託製品は、お客様から届く仕様に基づいて設計を行う「正確さ」を求められます。一方、自社製品に求められるのは「自由で柔軟な発想」です。コヒラは、設計から製造まですべてを内製出来るシステムになっていますので、自分の思い描いた製品が、完成に向かって着々と進んでいる様子を目の当たりにできます。さらに細かな調整やリクエストも、社内で制作しているので伝えやすいです。各部署とのコミュニケーションがスムーズな職場環境であるからこそ、製品の品質にこだわれるのだと思っています。

私の目標

他の追従を許さない コヒラブランドの構築に向けて

自分の担当する製品が立ち上がって4年が経ちました。競合他社も多い中、コヒラブランドの確固たる地位をどうすれば確立できるのか、開発設計の目線から考え続けたいと思っています。設計の手法はどんどん進化していますので、新しい方法や知識をどんどん取り入れ、他社にはマネの出来ない製品を世の中に生み出したいと思っています。



自分のやっている仕事

売上を生む最前線の部署で、 多岐にわたるサポートを

見積りや作成や電話対応、注文書の処理や営業マンのサポートなど、私が所属している商品営業課は仕事が多岐にわたります。視野を広く、さまざまなことへ気を配らなといけなくて忙しいですね。お客様と直接話をしたり、営業スタッフとコミュニケーションをとったり、日々多くの出会いと学びに囲まれていると思います。製品が売れたり、受注が決まったりする瞬間を営業の最前線で感じることが出来る、刺激的な職場だなと思っています。

私の目標

「助け合い」文化に貢献できる社員へ

コヒラには「助け合い」という文化があります。困っている人がいたら、助ける。この何気ないアクションって、実はなかなか難しいことだなと思っています。自分の仕事もしてはいけないけど、誰かが助けて欲しい時は寄り添ってアドバイスを。私も先輩から何度も助けてもらっています。その「助け合い」の行動をスマートに出来るような社員になりたいと思っています。そのためにはもっと会社のことを知り、社員の仕事を把握しなくてはなりません。やっぱり日々勉強です。



自分のやっている仕事

開発部門の経験を生かした 営業活動を

現在、産機営業課のメンバーとして、日々お客様の元へ出向き、生産状況の調整や、新規引合いの情報収集を行っています。入社してからしばらくは開発部門で働いていたので、時には開発者としての視点で営業活動を行うこともあります。開発から営業という毛色の異なる仕事をすることで、一気に自分の視野が広がりましたし、自分の中で会社に対する意識が変わりました。中でもいちばんの変化は、「会社の利益」「製品コスト」などのいわゆる「会社とお金の関係」を強く意識するようになったことです。どういう仕事をすれば利益を生むのか、そのためにはコストをどれくらいにすればいいのか、そのコストでお客様が満足する製品が作れるのか、という考え方が出来るようになりました。

私の目標

反省から学び、また一歩、前に進みたい

今まで営業として取り組んできた仕事の中には、思い返せば「もっとこういう提案ができたんじゃないか」、「こう振る舞いがふさわしかったのではないかなど」と反省することが多くありますが、そんな過去の自分から学び、乗り越えて、会社・仲間・そして自分が納得できるような仕事をしたいと思っています。今はまだまだ目の前の仕事に追われ、先を見つめる余裕はありませんが、「一歩ずつ、確実に前へ進めば次につながる」という想いで働き続けたいと考えています。



クラブ活動

体育系

野球部	バスケットボールクラブ
駅伝部	ウインタースポーツクラブ
テニスクラブ	スノーボード同好会
グリーン会(ゴルフ)	ボウリング倶楽部
バレーボールクラブ	ルアーフィッシング同好会
サッカークラブ	あすなろ会(登山)

文化系

麻雀同好会	模型クラブ
軽音楽クラブ	コマ部



駅伝部

箱根駅伝、ニューイヤー駅伝などに参加経験のある選手も在籍!



サッカー部



コマ部

世界コマ大戦2020に出場!



ウインタースポーツクラブ



野球部

全国大会にも出場経験のある強豪チーム!



バスケ部



ボウリング部



登山部



テニス部



軽音楽クラブ



バレー部

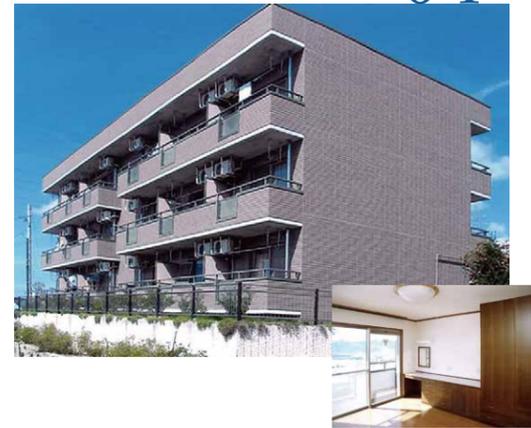
福利厚生

社宅・独身寮

会社から徒歩5分の独身寮やマンションタイプの社宅、一戸建て社宅を自社で保有しています。格安の家賃で入居することが可能です。

独身寮(1K)18室

01



マンション社宅(3LDK)12戸

02



一戸建て社宅 10棟

03



社員食堂

安くても美味しい豊富なメニューが自慢です。



地域貢献

従業員が地域への感謝の気持ちを込めて周辺のゴミ拾いを定期的に行っています。また地域行事へも積極的に参加し、市民の皆様との交流やふれあいを大切にしています。

コトヒラ杯スポーツ少年野球大会



東御市内各地の少年野球チームが集まり熱戦を繰り広げます。コトヒラ工業もご家族と一緒にサポートしています。

花いっぱいコンクール



東御市花いっぱいコンクールにおいて、当社の花壇が最優秀賞に輝きました。

コトヒラ杯東信ジュニアスキー大会



東信地区の小中学生を対象に、ジュニア育成を目的として開催しています。

地域クリーンアップ作戦



日常利用している会社周辺の通勤路を、日頃の感謝の気持ちを込めてゴミ拾いを実施しています。

コトヒラ杯バレーボール大会



小中学生を対象に、大会経験を積んでもらうことを目的として開催しています。中学生は県外からの参加もあります。

イルミネーション



社員が自作で飾りつけを行い本社工場入口付近の広場で「イルミネーション」が点灯しました。

数字で見るコトヒラ工業



産休・育休
取得率(女性)

100%

育児休業
復職率

100%



平均
残業時間

15.9時間



有給消化率
(過去5年間の平均)

77.1%

有給消化率
(29歳以下)

80.5%



年間休日
(2019年実績)

122日



創業から

80年

文系・理系比率



文系

32%



理系

68%



平均勤続
年数

19.5年

勤続10年以上
の社員

230名



国家資格
保有数

300以上



クラブ・同好会数

24



転勤する社員数

0人



ユニットバスパネル生産量

200万枚

(2019年度実績/年間)

Corporation Profile

会社概要



- 商号
- 本社・工場
- 佐久工場
- 設立
- 代表者
- 資本金
- 従業員数
- 事業内容

コトヒラ工業株式会社
〒389-0512 長野県東御市滋野乙1320
TEL.0268-63-0001(代)

〒384-2102 長野県佐久市塩名田65
TEL.0267-58-1111(代)

昭和20年2月20日
代表取締役社長 手塚久仁彦
4,000万円
307人(男263名 女44人)
環境衛生機器の開発/ユニットバスパネル製造/
産業機械設計製造/ソフトウェア開発/
製缶/機械加工/板金/配線組立

本社・工場
敷地=67,500m² 建物=28,500m²
佐久工場
敷地=38,000m² 建物=14,100m²

■ 規模



コトヒラ工業は従業員の健康に配慮した経営をしています。

ISO認証取得

コトヒラ工業は国際規格 ISO9001・ISO14001の認証を取得しています。



会社沿革

- 1940年(昭和15年) 東京においてコトヒラ製作所創立 航空機部品加工を開始
- 1945年(昭和20年) 上田市に疎開しコトヒラ工業株式会社を設立する 資本金18万円
- 1960年(昭和35年) 上田市大屋に工場を開設 大型板金設備を導入 資本金288万円に増資
- 1967年(昭和42年) 大屋に工場を増設 富士通、キヤノンとの取引が始まる 資本金1,000万円に増資
- 1969年(昭和44年) 町の誘致工場として東部町に工場を開設 資本金1,500万円に増資
- 1971年(昭和46年) ユニットバスルームの生産開始(松下電工より受注開始) 資本金2,250万円に増資
- 1975年(昭和50年) 建材営業部を設立 QC活動の推進 資本金3,000万円に増資
- 1983年(昭和58年) タイコー電子設立 電子機器の配線組立加工の開始
- 1984年(昭和59年) 本社所在地を、大屋工場から東部工場へ移転 資本金4,000万円に増資 株式会社メカニカルがコトヒラグループに入る 産機工場を新設 精密機械加工開始
- 1985年(昭和60年) 産機工場を新設 精密機械加工開始
- 1987年(昭和62年) 佐久工場新設 ネットワークバスパネル生産開始 ウイングソフト設立(ソフト開発の開始)
- 1989年(平成元年) 試作専用工場を本社敷地内に増設する
- 1990年(平成2年) 佐久工場増設 一貫生産体制の確立
- 1992年(平成4年) テクニカル棟完成
- 1993年(平成5年) 隣接造成地取得 総合グラウンド完成
- 1995年(平成7年) 創立55周年 設立50周年
- 1996年(平成8年) 佐久工場増設により自動倉庫導入
- 1997年(平成9年) 品質ISO9001認証取得
- 1998年(平成10年) 佐久工場3号棟完成 バイオトイレの製造を開始する
- 1999年(平成11年) 私募債2億円発行
- 2000年(平成12年) 環境ISO14001認証取得
- 2001年(平成13年) 本社工場4号棟、9号棟完成
- 2002年(平成14年) 本社工場増設により自動倉庫導入
- 2003年(平成15年) 日本品質奨励賞受賞
- 2007年(平成19年) 組立工場及び切削工場増築
- 2008年(平成20年) 大型板金切削工場増築
- 2016年(平成28年) 塗装工場建設
- 2017年(平成29年) 製缶棟竣工

グループ企業



(株)メカニカル

産業機械・工作機械の製造。県下最大の5面加工機にて大型製品の切削加工ができる。

所在地 長野県東御市和1800
従業員 50名

(株)ウイングソフト

パッケージソフトの開発やFAシステム・OAシステムの設計・開発
所在地 長野県東御市滋野乙1320(コトヒラ工業内)
従業員 3名

タイコー電子(株)

通信装置や検査機器の組立配線
所在地 長野県東御市滋野乙1320(コトヒラ工業内)
従業員 6名